

ITCイースト東京 2022年度活動方針

2022年5月11日
ITCイースト東京

目次

1. 2022年度活動方針
2. 2022年度活動計画
3. その他



2022年度活動方針

目 的

- **I T C協会の規定する
経営課題解決のための取り組み手法などを
テーマに研究活動を主に行う、
「勉強会志向」の届出組織として活動する。**
- **I T Cイースト東京会員のスキル向上**
- **スキル向上や会員交流の結果として
アイデアによる I T C活動のシーズを発掘する。**

活 動

★会員のスキルアップ^o機会の提供

- ・学習ポイント取得^o機会の提供
- ・スキルアップ^o機会の提供
- ・会員 I T C の交流^o機会の提供
- ・新しいアイデアによる I T C 活動のシーズ^o発掘

組 織

- **会長** I T C イースト東京を代表し、公的機関、I T C A などへの公式責任者となる。理事の中から選出する。
- **副会長** 会長を補佐し、会長に事故などがあつた場合、会長の代行を行う。理事の中から選出する。
- **理事** 総会の意志に基づき、分科会の活動に対する方針、意志決定を行う。また、分科会のリーダー又はイースト東京全体のリーダーとして、総会・理事会の意志に基づき、I T C イースト東京の実務活動を推進する。
- **監事** 会計監査を含めた I T C イースト東京の運営・活動に関する監査を行う。
- **事務局** I T C イースト東京の活動を推進するのに必要な補助的活動を行うことで、活動を支援する。
- **総会** 会員全員で構成し、I T C イースト東京の活動方針、予算などを決定する、最高意志決定機関とする。
- **理事会** 総会の意志に基づき、I T C イースト東京の活動主体である分科会の活動をとりまとめ、推進する機関とする。会長、副会長、理事、監事、事務局で構成する。
- **分科会** 同じ思いを持つ、正会員メンバで構成し、I T C イースト東京の実務活動を担う主体とする。
- **正会員** I T C イースト東京の活動に賛同する個人（I T コーディネータ）で構成する。
- **賛助会員** I T C イースト東京の活動に賛同する法人で構成し、I T C イースト東京の活動を支援する。

分科会とそのミッション

分科会 1 : 会員のスキルアップ機会創出

- 会員のスキルアップ機会創出
- 学習ポイント取得機会創出

分科会 2 : 会員交流・会員ネットワーク構築

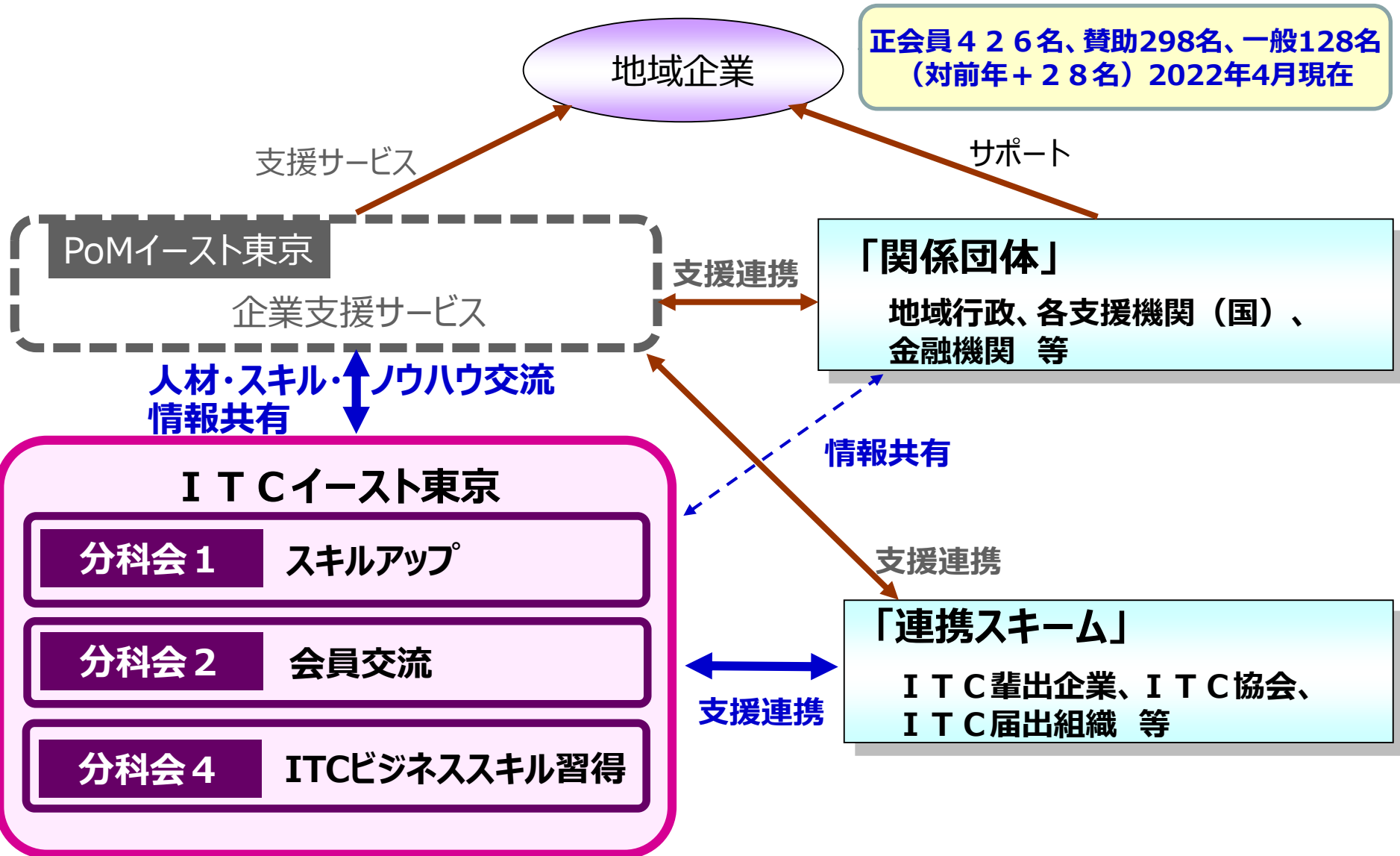
- 分科会 2 自主勉強会
- 会員交流企画検討実施
(ex.交流会、地域企業、工場、企業見学など)

分科会 3 : **2021年度で活動を終了しました。**

分科会 4 : ITCビジネスに必要な知識,経験,スキルを磨く

- ITCとしての実践力向上に意欲を持つ会員の相互研鑽
- ITCビジネスの準備のための知識修得
- 擬似体験の提供

ITCイースト東京活動概要図



事務局機能

・事務局は、全体活動を補助する以下のような機能を遂行する。

[事務局機能]

- ① 会員管理：
- ② 理事会／総会への情報提供・運営：
- ③ 会計管理：
- ④ HP管理（イベントの案内、受付機能含む）：
- ⑤ イベント企画の申込み受付・名簿作成・提供：
- ⑥ 対外窓口（メール、電話）：
- ⑦ 各種啓発冊子維持管理：
- ⑧ 過去電子データ管理：
- ⑨ 顧客データ管理：
- ⑩ 広報キット維持更新：
- ⑪ 固定資産管理：

2022年度活動方針・活動テーマ・活動施策概要

**活動方針：「IT経営の啓発から推進までを担える
人材へのスキルアップを推進する。」**

3つの専門的役割分担（分科会）の中で、会員のスキル向上を図る。

活動テーマ

- ①個々の会員のスキル向上を図り、地域企業の経営革新、IT化支援などが可能なITCリソース・要員を確保・強化する（分科会1）。
- ②会員の交流を図り、会員相互の啓発や、ネットワークを構築する（分科会2）。
- ③将来独立ITCとして活動することを目指した「ITC資格を活かす」ビジネスのスタートアップ準備のため、必要な知識修得と疑似体験を実践。（分科会4）。

活動施策

- ①企業支援可能な要員をより多く確保するため、会員の交流・スキルアップを図る。
 - ・セミナー、会員勉強会、事例研究、企業研究などを行う。
- ②IT経営のアイデアを輩出するため、新しいアイデアを検討し、活動のネタを発掘する。
 - ・アイデア検討会などを行う。
 - ・IT経営連携機関との交流・情報交換を図る。



2022年度活動計画

1. 分科会 1 活動計画

1. 目的

- ・会員のスキルアップ^o機会の提供
- ・学習ポイント取得^o機会の提供

2. 2022年度セミナー予定

- ・年2回 … 6月、11月
- ・4時間／回（2ポイント／回）
 - ※ITCイースト東京はITC協会届出組織のため、
2時間で1ポイントの知識ポイントが付与されます。
- ・開催場所：Zoom（事務局：江東区豊洲文化センター 8F 研修室等）

3. セミナー対象者

- ・ITコーディネータ
（ITCイースト東京会員以外のITCも含む）

2. 分科会 2 活動計画

1. 目的

- ・会員交流活動（交流の企画／運営）
- ・会員間のネットワーク構築

2. 計画案

- ①分科会 2 メンバによる自主勉強会＋会員交流企画検討会
・9回（4月～3月、1回／月）程度
- ②会員交流イベント（勉強会、見学会、交流会など）
 - ・勉強会（1H／回）＆交流会（1.5h／回）：3回
（ITC協会届出組織として後援を受けての勉強会予定：3回）
 - ・見学会：1回
 - ・会員交流からの新たな活動提案：1～2件
・他コミュニティとの交流など

3. 分科会4 活動計画

1. 目的

- ・ITCビジネスの準備のための実践的知識修得
- ・企業支援の実践体験の場づくりとそこでの自己研鑽

2. 計画案

- ① 目的に向けた分科会4メンバによる検討推進の定例会
- ・10回(4月～翌年3月にて、1回/月)程度

② 企業支援の実践体験の場

- ・企業向けセミナー企画・運営・講師体験 : 1回
- ・企業支援の実践体験 : 1回

③ 上記活動結果の発信

- ・ITC向けセミナー企画・開催 : 1回

3. 分科会4 活動計画

■ 分科会4で実現すること

ITCビジネスに取り組みたいITCが、「ITCビジネスを実践できる様になる」ための、**実践的な研鑽の場を作り自ら研鑽を図ります。**

問題・課題は何なの？
目指すゴールは？
どの様にITに取り組むの？



中小企業の方々

研鑽の場 ⇒ 分科会4



ITCビジネスに
取り組みたい！

ITC

- 実践に役立つ知識スキル習得・事例研究
- 実践に必要なツール整備
- 実際の実践の場に体験参加

4. 運営改善 活動計画

事務効率化に向けての取り組みの継続

前年度に実施した以下、運営業務の定着と理事会での確認

- ・会計のデジタル化と処理フローの運用
- ・イースト東京データ資産のクラウド上での運用
- ・会員管理の運用マニュアル活用

上記3つの運用状況を理事会にて確認

以上